

## 平成 28 年度第 3 回 習志野市公共施設再生プラットフォーム 質問回答

平成 29 年 2 月 17 日

### 【民間提案制度等について】

#### ●質問

流山市や我孫子市などの提案制度の話があったが、提案制度の無い市との付き合い方でアドバイスがあれば頂きたい。

#### ◇回答（講師）

両市は大々的に提案を募集していたが、提案制度がなくても随時対話をする機会があることが大事。対話をする場合には、単年度の契約だけでは経営的に安定してできないところもあるので、少なくとも 3 年以上の継続契約で行えればとの話をさせていただいている。

提案制度や包括委託の手法を行政が取り入れようとするときに、担当者だけで盛り上がってしまって失敗した例があると聞いている。組織として、事業者も含めての理解のもとに進めた方が良い。

### 【包括委託について】

#### ●質問

地元の中小企業がたくさんの施設の管理を一手に引き受けるのは難しいのではないか。

#### ◇回答（講師）

市から管理会社に包括委託され、管理会社が各施設の維持管理等の発注を地元企業にすることになる。地元企業の契約先が、市から管理会社に代わるのであって、変わったことをやっていただく必要はない。むしろ、3 年の契約期間で毎回の入札手続の負担を省けるというメリットが大きいと考えている。

請負金額については、1 回目はそれまでの公共発注金額程度でお願いしている。回数を重ねる毎に、仕様や金額の相談をさせていただいている。

#### ●質問

他市で公共施設の包括管理委託を実施している中で、市内事業者から上がってきた声があれば教えて欲しい。

#### ◇回答（講師）

「施設の管理基準が示されたことで、自分たちの今までのやり方が正しいことがわかり、自信が持てた」「入札が減ってよかった」「入札によって請負金額が底値まで下げられているため、これ以上安くは請け負えない」などの声がある。

●質問

提案制度が採用されて、1回目の契約期間終了後の2期目においても連続で契約をされたとの話があったが、事業者のチーム編成に変更はあったのか。

◇回答（講師）

基本的には同じメンバーで業務を行っている。

●質問

施設管理の包括委託について、地元企業への発注金額は変わらないが、市職員の間接費などの圧縮につながり、コストメリットが出るという説明かと思うが、間接費の圧縮の積算はどのように行っているのか。

◇回答（講師）

実際のところ、行政側の実態はわからないので、基準に基づく積算ができているわけではない。東洋大学の先生の研究結果などから、1つの入札に係る費用は10万円程度だと考えている。

●質問

包括管理で点検すると消防設備の老朽化など問題がたくさん出てくると思うが、これらの設備更新のための設計などで市に協力していただくこともできるのか。

◇回答（講師）

親会社は建設系の会社であるので、設計会社を紹介することもできる。請負までせずとも、管理者の立場からアドバイスはできると考える。

●質問

包括管理では自動車で施設点検の巡回をされているが、巡回をしている人は管理会社の社員か、それとも地元の会社か。

◇回答（講師）

巡回点検は管理会社の社員が行っている。

以上